

特集 内外美容に役立つ健康食品素材

化粧品を使って外から美しくなるだけでなく、食品として摂取することにより、内からも美を実現しようという「内外美容」の考え方は、広く浸透してきている。内外美容に役立つ健康食品素材も多数出てきている。保湿機能を持つ食品素材については、機能性表示食品における届け出受理実績も生まれている。また、内面からホワイトニングを図る、「飲む美白」コンセプトの美容食品や、シワ・たるみ対策用途の食品も人気が高い。近年では、食品として摂取することで、「抗糖化」を図ろうという食品素材も増えており、認知度も高まってきている。

とも発表した。同濃縮溶液には約70種類のイオン化ミネラルが含有されるのだという。

酵母と珪素パウダーを配合したスティック顆粒タイプの健康食品「生酵母シリカ」の販売開始も報告。OEM供給もできるという。

飲料や料理などに1滴垂らすだけでさまざまな香りを付加できる「香りウォーターの素も」との発売も報告した。

ark.biz(本社東京都、渡部裕也社長)の金子昭伯会長が登壇、「難病治療の究極は『栄養医学』」体内で働く珪素の役割をテーマに講演を行った。

「もみ殻珪素」に関する研究を推進する、富山県立工学部工学研究科の立田真文准教授も登壇。「植物の宝石」もみ殻珪素の研究開発と鉱物由来との差別化についてをテーマに講演。同准教授は講演で「鉱物由来だからダメとか、もみ殻由来だからいいとかいったことはまったくの誤解」と強調。「非晶質(アモルファス)の珪素を飲料や食品として摂取するのはまったく問題がない」と話した。そのうえで「もみ殻由来の優位性としては、ストーリー性がある」とし、「鉱物由来であろうと、もみ殻由来であろうと、信頼できるところから信頼できる商品を手に入れることが最も大事」と強調した。

APAコーポレーション

販社会で商品改良を発表

u m o 濃縮溶液の安全性を向上



講演する岡田憲己社長

水溶性珪素の原料メーカーであるAPAコーポレーション(エーピーエー)、本社愛知県、岡田憲己社長、(電)0566-9

216257)は9月9日、第63回目となる販社会社会議を、都内のフクラシア品川クリスタルスクエアで開催、約80社の販売会社が参加した。同社では、水溶性珪素原料「umo(ウモ)濃縮溶液」を改良することを発表した。珪素含有量を維持しつつ、安全性や飲みやすさをさらに向上させた新ウモ濃縮溶液の供給を開始するという。

冒頭、岡田社長が講演。ウモ濃縮溶液の改良について報告した。従来品は、pH10~12の強アルカリ性だったが、リニウアル品ではpH9~11の弱アルカリ性にしたという。岡田社長は「ウモは薄めて摂取するため、強アルカリでも問題はないが、間違えて原液で摂取してしまう人が出る可能性を考え、pHの値を落とす」と説明した。そのほか、飲みやすくなるよう味を抑え、ナトリウムの含有

量もこれまでの半分以下に下げたという。リニウアルに伴い、5年だった賞味期限は3年に短縮される。新原料の供給を開始するが、来年3月までは、どちらの原料も使えるようにすると説明した。

新原料について化粧品用のINCI(インキ)登録を進めており、11月をめどに取得予定であることも報告した。

畜産現場での珪素含有水の供給による肉質改善に関する報告も行った。鶏に珪素含有水を与えたところ、官能評価などを行った結果、肉質や鶏卵質の改善に効果を発揮する可能性が示唆されたという。

また、新規取扱原料として米国の塩水湖「グレイソルト湖」の高濃度ミネラル水を特殊加工して抽出した「GLMグレイソルトミネラル濃縮溶液」のOEM供給と原料供給を開始するこ

珪素の臨床の進捗報告

愛知医科大学福沢教授が

日本珪素医学学会 学術発表会を開催



第33回学術発表会の会場風景

珪素に関する学術研究を推進する日本珪素医学学会は9月9日、第33回学術発表会を都内のフクラシア品川クリスタルスクエアで開催、愛知医科大学の先制・統合医療包括センターの福沢嘉孝教授が、水溶性珪素に関して進めている臨床試験の進捗を報告した。同会には、水溶性珪素を研究する医師や学識経験者、珪素商品の販売会社の関係者ら150人超が参加した。

福沢教授の講演では、水溶性珪素の効果を検討するため、臨床研究を進めていることを報告した。聴衆は興味深く聞き入っていた。

同会では岐阜薬科大学の学長も務めた葛谷昌之名誉教授による講演も行った。テーマは「珪素の化学リテラシー」。同名教授は、珪素が化学の発展に果たした役割を説明、「珪素は現代文明の礎を築いた物質の一つ」と話した。水溶性珪素の生理作用についても「間違いないと思うが、作用機序が求められている。珪素が健康増進法で、栄養強調表示が可能な成分として取り上げられるようになるよう、私も微力ながら力を尽くしたい」などと話した。

ミリオナ化粧品・ラシエル製薬

ついているのか。

阪本 ミリオナ化粧品では、医薬部外品の開発

ビタミンC配合の顆粒スティックをシリーズ化する。11月尾発するシリーズ

シリーズとして提案することにより、健康食品の的に行っている。